

## 騶虞学校校名横額

- 所在地 仁木小学校 海松新田827
- 時代 明治26年6月

<sup>すうぐ</sup>騶虞学校校名横額は、現在仁木小学校の校長室に掲げてある。<sup>すうぐ</sup>騶虞学校は、明治6年5月15日、大吉新田、松内、海松新田村が連合して、松内村の福善寺を借り、開校した。明治10年、いろいろな事情により、大吉新田の山本信氏の家を購入し移り、さらに、明治13年に大吉新田の新左地に校舎を新築して移った。

しかし、明治24年10月の濃尾大震災で校舎が倒壊したため、翌25年1月、海松新田の一民家を借り校舎とした。明治27年日清戦役中、海松新田、大吉新田、松内、下大樽新田、下大樽の五か村が組合で、海松新田・大樽川堤上に壮麗な一大校舎を新築。明治28年10月7日、海松尋常小学校と改称した。

明治29年7月、9月の水害は、古来未曾有のもので、家屋の崩壊・流失・人畜の死傷、あるいは田畑の荒廃はおびただしいものであった。しかし、海松小学校は大樽川の堤上にあつたため、校庭まで浸水してきたが、校舎は無事で、そのための避難所となった。

やがて、世運の進歩と教育上の必要によって、海松、崇文の二尋常小学校が合併し、高等科を併置しようとの議がおこり、明治36年5月16日、高等科を併置して、仁木尋常高等小学校と改めた。

騶虞学校の校名の由来は靈獣の名、詩経毛伝に「義獣なり、白質にして黒文生物を食わず至信の徳あれば即ちこれに応ず」とある。



仁木小 騶虞学校校名横額



明治27年に大樽川堤上に校舎を新築する。  
明治28年7月、海松尋常小学校と改称。